

会話文のよみわけ練習

名前)

つぎは、すべて「命令の文」です。同じ命令の文でも、言い方(話しぶり、話し方のちょうし)で、
いみがかわってきます。

やさしい言い方、強い言い方、どなりつける言い方など、いろいろな言い方があります。
つぎの「命令の文」を、①と②のいみになるように表現よみましょう。

(ア)「さっさとやりなさい。」

- ①大きな声で。おこって どなりつけて 言う。
- ②小さな声で。やさしく やわらかく 言う。

(イ)「もう、帰って。」

- ①大きな声で。おこって、どなりつけて 言う。
- ②小さな声で。やさしく やわらかく 言う。

(ウ)「これを はこんでちょうだい。」

- ①大きな声で、いばって、強く 命令して 言う。
- ②小さな声で、たのむように おねがいで 言う。

(エ)「いい子だから、だまっていなさい。」

- ①きびしく おさえつけて しっかりつけて 言う。
- ②耳もとで ささやいて やさしく おねがいで 言う。

(オ)「ここへ いらっしやい。」

- ①大きな声で、しっかりつけるために よびつけて 言う。
- ②おいしいケーキを みんなで いただきますよう、と
やさしく さそいかけて 言う。

)

